

## R 7以降 宮特研 夏季研修会 話題提供者選定について（確認）

### ○経緯

宮特研夏季研修会の話題提供者決定は、R 4年度から知障専事務局で行ってきた。

R 4年度から始まった話題提供者選定にあたっては、前年度2月までにおおよそのテーマや話題提供者を決めてきた。しかし、実際には、話題提供者を担って頂く方を探すことが困難であったり、年度をまたぎ、新年度が始まってから候補に挙がっていた話題提供者の方が他の校務との兼ね合いで受けて頂くことが難しかったりする事例があった。そこで、事務局から、令和4年度第二回運営委員会にて、今後は本専門部の支援学校・地区ごとに選出された運営委員の中で地区ごとに行う定例会議等で候補となる方を募って頂くことを提案し、承認された。

### ○決定事項

① R 5年度に各地区の担当順（ローテーション）を検討し、R 6年度以降、地区ごとに話題提供者選定を行う。

その際、各地区の分け方や順番は、H 3 1年度以前に、本専門部 研究協議会分科会担当用に割り当てていた表を参考にし、話題提供者選定順（案）（※下記参照）を作成する。

※各地区の再編や運営委員数の減少、他の研究協議会割り当てと重複した場合等を踏まえて、若干従前と異なる。

② 令和5年度末に各地区の担当順を決定し、令和6年度から適用することとする。

### ○実施までの流れ

年度	
R 5 5月	・ R 5年度第1回運委でR 6年度以降の担当順（ローテーション）を検討・決定
R 5 5月 ～R 6 1月	・ 第1回運委で決定した担当地区が、R 6話題提供者を選定、本専門部へR 6年度の話題提供候補者を報告 ・ 宮特研へ報告

R 6 5. 30 第一回運営委員会 資料

**地区等**：仙台市（小・中）、東部（石巻・登米・気仙沼・南三陸）、大河原（白石・刈田他）、仙台教育事務所管内、北部（大崎・栗原）、県立支援学校、国公立支援学校・私立支援学校

年度	話題提供者選定順	開催
R 6	仙台市（小・中）	終了
7	東部（石巻・登米・気仙沼・南三陸）	終了
8	大河原（柴田・白石・刈田・角田・伊具）	次回
9	仙台教育事務所管内	
10	北部（大崎・栗原）	
11	県立	
12	国公立・私立	
13	仙台市（小・中）	

※話題提供者の選定は前年度中に行い、宮特研事務局へ報告するシステムとなっている。

※知障専部のテーマを決めて、そのテーマに沿った話題提供をお願いする。人数は決まっていない。

※宮特研事務局への報告は、知障専部事務局が行う。